

兵庫本拠地プロスポーツ3チームの挑戦

キーワードは「新生」だ。兵庫県内に本拠地を置くプロスポーツチームの神戸ストークス(Bリーグ)、ヴィクトリーナ姫路(Vリーグ)、E.P.I.C. EXE(3×3 EXE PREMIER)が新たなフェーズを迎えた。地域密着を掲げる3チームにスポットライトを当て、これからの挑戦を紹介する。

新生



ヴィクトリーナ姫路 V2リーグ

SVリーグ参入へ——元オランダ代表監督&10選手加入し戦力UP

を踏み出した。

◆ヴィクトリーナ姫路 2023-24年陣容◆

背番号	ポジション	選手名	年齢	身長
1	OH	真包 里穂	27	1.71
2	S	桜井 美樹	27	1.70
3	OH	田中 咲希	27	1.70
4	MB	佐々木 千紜	25	1.75
5	S	柴田 真果	29	1.71
6	MB	荒谷 葵	25	1.73
7	MB	小林エリナ	23	1.96
8	OH	松本 愛希	26	1.70
9	OH	渡辺 希穂	25	1.71
10	OH	井上 愛里沙	28	1.78
11	MB/OH	宮部 藍梨	25	1.81
12	S	古市 梨乃	24	1.70
13	L	森田 明里	21	1.70
14	OH	森田 茉莉実	26	1.60
15	L	金田 莉実	25	1.78
16	OH	野津 亜珠佳	23	1.71
17	MB	伊藤 麻緒	23	1.78
18	MB	足立 溜奈	23	1.76
19	OH	チャチュオン・モクシー	23	1.81
20	L	吉田 真奈	22	1.66
21	S	山田 絢音	22	1.71
	監督	アウタル・セリジャー	64	—

※はキャプテン

チームには2年目の宮部藍梨(25)、移籍加入の井上愛里沙(28)、柴田真果(29)、新人の小林エンジェル(23)と4人の女子日本代表選手を擁し、V2での戦力的優位は間違いないはず。8月にチームに合流したセリジャー監督は「2カ月で選手たちはすごく上達して、手応えを感じている。あとは日本代表勢や来日したばかりのチャチュオン・モクシー(23)がチームにフィットしていく」と、開幕に向けての準備は整ってきた。

昨年はフランスリーグのサンテールでプレーした井上は「いろいろなチームの話がありましたし、V2でプレーするのは嬉しかったです。セリジャー監督と話して決まりました。パリ五輪を引退しつつ、来シーズンのSVリーグ参入へ貢献する覚悟を決めた。高部は「昨年はすごく苦しいシーズンで、もどかしい気持ちを感じてしまった。今季はスタッフも新しく入ってきたので新しいヴィクトリーナの形をつくってほしい」と、決意を話した。

16年のチーム結成から8年目、井上高部とともに「町に出れば声をかけられることが多いです。これから先、多くのファンに支えられたい。多くのファンに支えられたい。多くのファンに支えられたい。」と、決意を話した。

28日シーズン初戦 大幅なチーム刷新を果たしたヴィクトリーナ姫路は、28日に2023-24シーズンのV2女子リーグ初戦を迎える。

昨季は5勝28敗でV1リーグ最下位となり、入れ替え戦のV・チャレンジャーマッチで2部降格が決まった。今季は、オランダ女子代表監督を務めたアウタル・セリジャー監督(64)写真体制となり、新人・移籍を合わせて10選手が新たに加わり、出陣のシーズンに臨む。



女子日本代表でもある「ヴィクトリーナ姫路」2年目の宮部藍梨(左)と新加入の井上愛里沙

6年設立の兵庫県姫路市を本拠地とする日本初の女子プロバレーボールチーム。日本でも競技人口の多いバレーボールを通じて、さまざまな世代の教育や育成を目指している。創部3年目の2020-21シーズンでV2優勝を果たした。今季はV1女子リーグ参入を目指す。V1女子リーグ参入を目指す。V1女子リーグ参入を目指す。

◆神戸ストークス 2023-24年陣容◆

背番号	ポジション	選手名	年齢	身長
1	PF	中西 良太	34	2.02
2	C	カロンジ・山本	24	2.06
3	PG	松崎 賢人	35	1.78
7	PG	網井 勇介	27	1.85
9	SF	谷 直樹	35	1.93
10	PG	渡辺 翔太	30	1.81
12	SG	川島 聖那	23	1.87
13	PG/SG	道原 紀晃	34	1.78
15	PF/C	トレイ・ポーター	27	2.10
24	SF/PF	ジョーダン・キャロライン	27	2.01
30	SF	金田 龍弥	23	1.95
32	PF	アイザック・アムウッド	32	2.06
33	PG/SG	杉山 裕介	23	1.83
	ヘッドコーチ	森山 知広	39	—

※はキャプテン

◆E.P.I.C. EXE 選手一覧(男子)◆

背番号	ポジション	選手名	年齢	身長
0	SG	岸川 達希	22	1.76
1	GF	龍 季弥	27	1.78
6	SF	一色 篤	27	1.83
10	SF	菊池 広明	30	1.85
23	SG	小寺 裕介	39	1.80
24	PF	中村 大輔	34	1.88
33	PF	重本 和毅	28	1.92
42	SG	浦西 将介	35	1.80

※はキャプテン



神戸ストークス B2リーグ

今季から本拠地移転——初年度1部昇格で存在アピール

道原紀晃(34)も「選手は一年一年が勝負なので、神戸アリーナ開業に昇格を合わせることは考えてない。今季が勝負だと思っている」と、言葉に力を込めた。

また、森山ヘッドコーチは、試合で結果を残すことと並行して地域貢献活動の重要性にも言及した。「選手たちにはイベントにどんどん参加してほしい。神戸1年目だったら、初めての人間たちへのチーム応援したいなとか、このチーム魅力的だなんてやっぱ思ってもらわないといけない。でも、一人でも適当な選手がいると後ろ指をさされる。そういうチームにはしたくない。道原主将も「チームをもっと知ってもらってバスケットボールを盛り上げていきたい」と、地域とともに歩むチーム発展を掲げている。

森山知広ヘッドコーチ(39)は「一年目にビッグインパクトを出すことが大事。昨シーズンのセミファイナルであら優勝すれば1部昇格」というアウエーの試合、目の前で昇格された。今季、僕たちが「移転」初年度に同じことをやる。今度昇格する善にできれば神戸のファンもついてくれるんじゃないかな」と、1部復帰を最大の目標に掲げた。

野球やサッカーの人気プロスポーツチームが本拠地を置く神戸で存在をアピールするに結果を残すことが一番だ。25年にはワールドアリーナに新たな本拠地となる収容客数約1万人の神戸アリーナ(仮称)が開業する予定だが、昇格は1年でも早い方がいい。



試合中、選手に指示を出す森山知広ヘッドコーチ(中央)



E.P.I.C. EXE 3x3 EXE PREMIER

西宮浜総合公園内のバスケットボール広場 ネーミングライツで積極的な地域貢献活動



「ドリムコート」は子どもたちにいっぱい使ってもらいたい」とバスケットボールの発信地として認知度が上がること期待することにも「NISHINO MIYA It All Starts Here」(西宮)すべてはここから始まる」と記されたメッセージが実現することをお願いしている。

一色篤主将(27)は「子どもたちと一緒に取り組むことも、イベント開催に伴うバスケットボール教室なども地域貢献活動も積極的に行う。今年度は西宮浜総合公園内にあるバスケットボール広場のネーミングライツを取得し「E.P.I.C. COURT」として、子どもたちの未来を応援するイベントを開催した。また、独自に清掃活動を行うなど地域貢献の意識は高い。

人と人が助けあう
そんなあたり前なことが
あたり前にある日常をかなえたい

「ゆりかご」から、
誰にもいつかは訪れる「その日」まで…
皆様の人生のトータルサポーターを目指しています。